

## 8.3 緑

### 8.3.1 調査事項

調査事項は、表 8.3-1 に示すとおりである。

表8.3-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度</li> <li>・緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存緑地の改変の程度</li> <li>・緑化計画</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場予定地を中心に芝コースを配置し、植樹エリアの改変が可能な限り少なくなる計画としている。</li> <li>・計画地内に生育する約2万本の既存樹木（9割以上は幼苗・幼木）については、基本的に海の森公園（仮称）内へ樹齢や樹種等に応じて適切に移植する計画としている。</li> <li>・芝コース・ウォームアップエリアには在来種のノシバを張芝する計画としている。</li> <li>・芝コースについては、広場と同じ計画高にすることで一体的に見える仕上がりとし、引き続き広場として利用する計画としている。</li> <li>・樹林地内に配置する芝コースの路盤は「山砂＋土壌改良材」とし、自然遷移が進みやすく樹林地に戻る構造とする。</li> <li>・移植後の状況については、フォローアップで確認する。</li> </ul>

### 8.3.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

### 8.3.3 調査手法

調査手法は、表 8.3-2 に示すとおりである。

表8.3-2 調査手法

調査事項	植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度	
調査時点	工事中及び工事終了後の適宜とした。	
調査期間	予測した事項	工事終了後とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	工事中及び工事終了後の適宜とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況を整理する方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	

### 8.3.4 調査結果

#### (1) 調査結果の内容

##### 1) 予測した事項

##### ア. 植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度

計画地は海の森公園（仮称）の一部であり、落葉広葉樹（エノキ、オオシマザクラ等）、常緑広葉樹（スダジイ、クスノキ、タブノキ、マテバシイ等）、常緑針葉樹（クロマツ）が植栽されていた。事業の実施により、植樹林や草地環境の一部が改変された。

事業の実施に当たっては、広場を中心に芝コースを配置し、植樹エリアの改変が少なくなるように努めたほか、計画地内に生育する樹木のうち、エノキ、アキニレ、オオシマザクラ、スダジイ、タブノキ、クロマツ等については、樹齢や樹種に応じ海の森公園（仮称）内に適切に移植を行った。さらに、芝コース・ウォームアップエリアには在来種のノシバを張芝した。これらのことから、事業実施前と同様の植栽内容が維持されているものとする。

##### イ. 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度

計画地は海の森公園（仮称）の一部であり、落葉広葉樹（エノキ、オオシマザクラ等）、常緑広葉樹（スダジイ、クスノキ、タブノキ、マテバシイ等）、常緑針葉樹（クロマツ）が植栽され、事業の実施前の緑の面積は約 55,600m<sup>2</sup>であった。事業の実施により、植樹林や草地環境の一部が改変された。

事業の実施に当たっては、広場を中心に芝コースを配置し、植樹エリアの改変が少なくなるように努めたほか、計画地内に生育する樹木のうち、エノキ、アキニレ、オオシマザクラ、スダジイ、タブノキ、クロマツ等については、樹齢や樹種に応じ海の森公園（仮称）内に適切に移植を行った。さらに、芝コース・ウォームアップエリアには在来種のノシバを張芝した。これらのことから、緑の面積は維持されているものとする。

##### 2) 予測条件の状況

##### ア. 既存緑地の改変の程度

既存緑地の改変の程度については、「8.1 生物の生育・生息基盤（1）調査結果の内容 2）予測条件の状況」（p.24 参照）に示すとおりである。

##### イ. 緑化計画

緑化の状況については、「8.1 生物の生育・生息基盤（1）調査結果の内容 2）予測条件の状況」（p.24 参照）に示すとおりである。

## 3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.3-3 に示すとおりである。緑に関する苦情はなかった。

表8.3-3 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>広場予定地を中心に芝コースを配置し、植樹エリアの改変が可能な限り少なくなる計画としている。</li> </ul>	<p>植樹エリアの改変が可能な限り少なくなるように芝コースを配置したほか、植樹エリアの既存樹木のうち、エノキ、アキニレ、オオシマザクラ、スダジイ、タブノキ、クロマツ等 11,195 本については移植を行った。なお、海の森公園（仮称）の公園計画のための間伐として、計画地内に生育する樹木のうち 1,074 本を伐採した。（写真 8.3-1～写真 8.3-3）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画地内に生育する約 2 万本の既存樹木（9 割以上は幼苗・幼木）については、基本的に海の森公園（仮称）内へ樹齢や樹種等に応じて適切に移植する計画としている。</li> </ul>	<p>既存樹木のうち、生育が良いと判断されたエノキ、アキニレ、オオシマザクラ、スダジイ、タブノキ、クロマツ等 11,195 本については、樹齢や樹種に応じ海の森公園（仮称）内に適切に移植を行った。（写真 8.1-1～写真 8.3-3）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>芝コース・ウォームアップエリアには在来種のノシバを張芝する計画としている。</li> </ul>	<p>芝コース及びウォームアップエリアにはノシバを使用した。（写真 8.3-4～写真 8.3-5）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>芝コースについては、広場と同じ計画高にすることで一体的に見える仕上がりとし、引き続き広場として利用する計画としている。</li> </ul>	<p>芝コースは広場と同じ地盤高とし、広場と一体感のある外観とした。（写真 8.3-6）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>樹林地内に配置する芝コースの路盤は「山砂＋土壌改良材」とし、自然遷移が進みやすく樹林地に戻る構造とする。</li> </ul>	<p>芝コースの路盤には、山砂に土壌改良材としてピートモスを加えたものを利用した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>移植後の状況については、フォローアップで確認する。</li> </ul>	<p>移植後の状況について、順調に生育していることを確認した。</p>



写真 8.3-1 移植樹木①



写真 8.3-2 移植樹木②



写真 8.3-3 移植樹木③



写真 8.3-4 芝コース



写真 8.3-5 ウォームアップエリア



写真 8.3-6 芝コースと広場の高低差

## (2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

## 1) 予測した事項

## ア. 植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度

計画地は海の森公園（仮称）の一部であり、落葉広葉樹（エノキ、オオシマザクラ等）、常緑広葉樹（スダジイ、クスノキ、タブノキ、マテバシイ等）、常緑針葉樹（クロマツ）が植栽されていた。事業の実施により、植樹林や草地環境の一部が改変された。

事業の実施に当たっては、広場を中心に芝コースを配置し、植樹エリアの改変が少なくなるように努めたほか、計画地内に生育する樹木のうち、エノキ、アキニレ、オオシマザクラ、スダジイ、タブノキ、クロマツ等については、樹齢や樹種に応じ海の森公園（仮称）内に適切に移植を行った。さらに、芝コース・ウォームアップエリアには在来種のノシバを張芝した。これらのことから、事業実施前と同様の植栽内容が維持されているものと考えられる。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考えられる。

## イ. 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度

計画地は海の森公園（仮称）の一部であり、落葉広葉樹（エノキ、オオシマザクラ等）、常緑広葉樹（スダジイ、クスノキ、タブノキ、マテバシイ等）、常緑針葉樹（クロマツ）が植栽され、事業の実施前の緑の面積は約 55,600m<sup>2</sup>であった。事業の実施により、植樹林や草地環境の一部が改変された。

事業の実施に当たっては、広場を中心に芝コースを配置し、植樹エリアの改変が少なくなるように努めたほか、計画地内に生育する樹木のうち、エノキ、アキニレ、オオシマザクラ、スダジイ、タブノキ、クロマツ等については、樹齢や樹種に応じ海の森公園（仮称）内に適切に移植を行った。さらに、芝コース・ウォームアップエリアには在来種のノシバを張芝した。これらのことから、緑の面積は維持されているものと考えられる。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考えられる。